

とび出す食草園のチョウ ウラギンシジミ

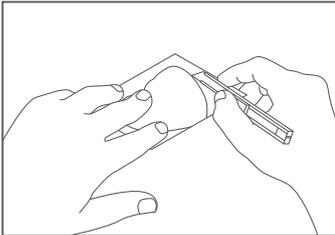
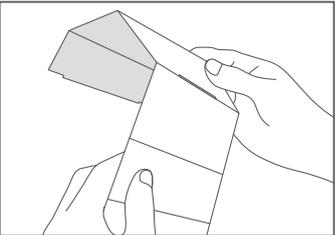
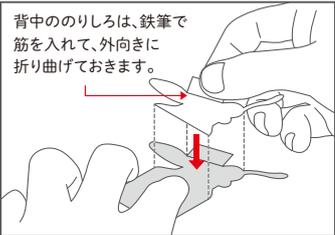
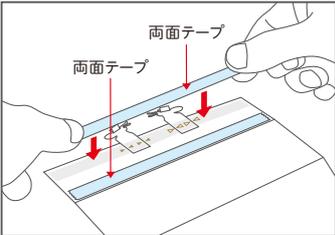
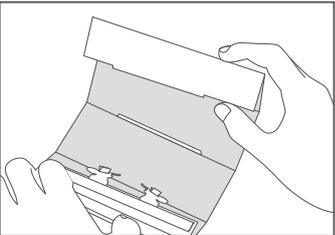
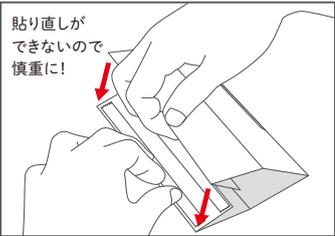
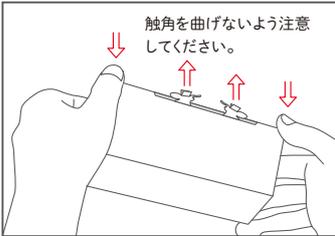
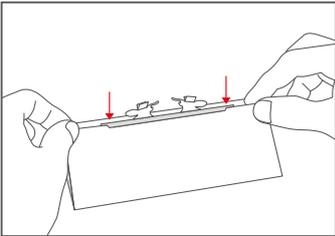
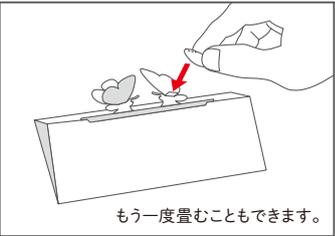
チョウの成虫がさまざまな花の蜜を吸うのに対して、チョウの幼虫は種類によって決まった種類の葉(食草)しか食べません。植物はさまざまな化学物質をつかって虫から身を守っているの、それを解毒できる幼虫だけが食事にありつけるのです。食草園をよく訪れるチョウとその幼虫と食草の関わりを紙工作でご紹介します。よく見かけるあのチョウの幼虫は何を食べているのかな? 近所で見かけた植物はチョウの食草だったんだ! 身近な虫や草花を注意深く観察すると新しい何かが見つかるかもしれません。



組み立てに必要な道具

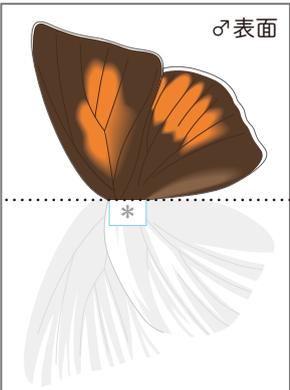
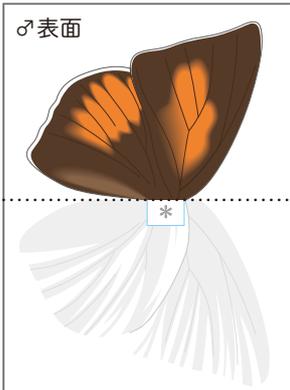
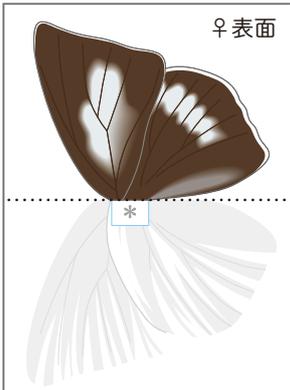
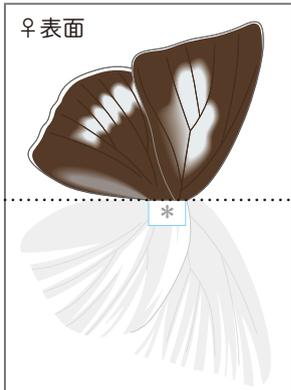
- カッターナイフ/はさみ
- カッティングマット
- ものさし
- 鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったもの
- 両面テープ(10ミリ幅がおすすめ)
- 木工用接着剤
- つまようじ
(接着剤を塗るヘラとして使います)

5つのパーツをていねいに切り抜き、説明図にしたがって組み立ててください。

<p>1 下の説明にしたがって翅の表裏を貼り合わせ、手順11の前に切り抜きます。</p> 	<p>2 台座の折り線5本に、鉄筆で線を引きようとして、折り筋をつけます。</p> 	<p>3 折り筋にそって、台座をしっかりと折り曲げます。</p> 	
<p>4 体をびったり揃えて貼り合わせます。背中ののりしろと触角はのりづけしません。</p>  <p>背中ののりしろは、鉄筆で筋を入れて、外向きに折り曲げておきます。</p>	<p>5 台座を開き、体の矢印とびったり向き合わせてのりつけします。</p>  <p>♀を右に、♂を左に、向かい合わせに貼ります。</p>	<p>6 両面テープを2箇所に貼り、のりしろを覆います。はくり紙はまだはがしません。</p> 	<p>7 体を内側にくるむように、台座を折り曲げます。</p> 
<p>8 両面テープのはくり紙をはがし、角をぴったりと合わせて台座を閉じます。</p>  <p>貼り直しができないので慎重に!</p>	<p>9 四隅を持ち、縦につぶすように台座を押さえると、体がとび出します。</p>  <p>触角を曲げないよう注意してください。</p>	<p>10 紙の出張った部分を、切り込みで噛ませてロックし、形を整えます。</p> 	<p>11 翅を背中ののりつけて完成です。翅を開いて飾りましょう。</p>  <p>もう一度量むこともできます。</p>

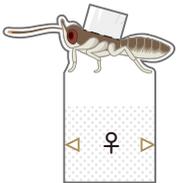
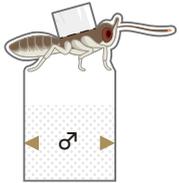
デザイン: 坂啓典(図工室)

翅は周囲の四角い線で切って真ん中で折り、裏面にまんべんなく接着剤を塗ってぴったり貼り合わせ、本などで押さえて平らにします。接着剤が乾いたら、表面の輪郭に沿ってていねいに切り抜きます。

♂	♂	♀	♀
♂表面	♂表面	♀表面	♀表面
			

記号の説明

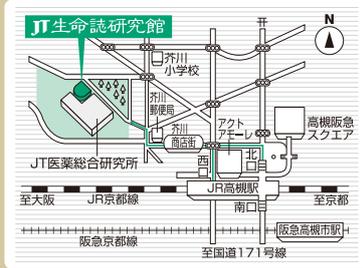
- 実線 切りとり線
-点線..... 山折り線
- 破線----- 谷折り線
-  切り抜き箇所
-  両面テープでのりづけ
-  接着剤でのりづけ



両面テープ ▶ * ♂ 矢印を向き合わせて体を貼りつけ ◀ 両面テープ

* ♀ 矢印を向き合わせて体を貼りつけ ▶ 両面テープ ◀ 両面テープ

両面テープ

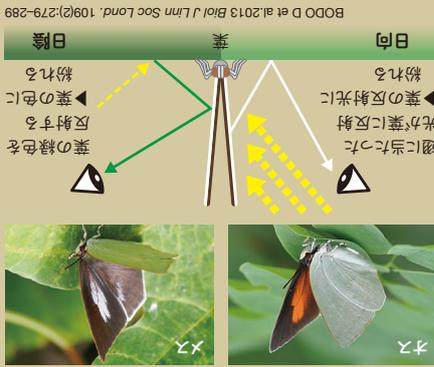


BRH 生命誌研究館

〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1
Tel:072-681-9750(代表) Fax:072-681-9743
<https://www.brh.co.jp>



開館時間 10:00-16:30 入館無料
休館日 毎週月曜日/年末年始(12月29日~翌年の1月4日)
最新の開館情報はWEBサイトでご確認ください。
交通 JR京都線高槻駅より徒歩10分/阪急京都線高槻市駅より徒歩18分 JRのご利用が便利です。



BRH

翅を閉じた姿が白銀色に輝くウラギンシジミは、前翅長が20mmを超えるシジミチョウ科の中で大型のチョウです。翅を開くと褐色でオスはおレンジ、メスは青白色の斑紋で見分けることができます。一目立ちそうなお白銀色の翅は、日陰では葉の緑を反射して緑に見え、日光の下では葉の反射光に溶け込みます。年に2-3回発生し、成虫で越冬します。光沢のある常緑樹の葉にうまく身を隠すことで、冬を乗り切っているのと同じよう

とび出す食草園のチョウ
ウラギンシジミ
Curetis acuta / 鱗翅目 シジミチョウ科



ウラギンシジミ
食草：マメ科
クズ・フジなど

成虫は主に腐った果実、
糞汁から吸汁するほか、
地上に降りて吸水する
こともある。花を訪れる
ことは稀。

幼虫の小さな体に工夫が詰まる

幼虫の体色は、緑色～赤紫色まで様々で、食草のクズやフジの花や、若芽にうまく隠れています。お尻には特徴的な2本の筒状突起をもち、天敵からの攻撃など、外的な刺激を受けるとこの突起からポンポンのような毛束を飛び出させ、振り回して身を守ります。時にはうまく隠れ、時には敵を驚かせる。小さなウラギンシジミの幼虫が見せる数々の工夫に驚かされます。

花に隠れる紫の幼虫



威嚇する緑の幼虫



写真提供：
昆虫写真図鑑
ムシムル

幼虫の威嚇

